

月刊きょうと教育通信

vol. 12 平成15年11月号 発行：京都市教育委員会企画課（222-3768）

京都市教育委員会のHPは <http://www.edu.city.kyoto.jp/kyoiku/> でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

右京中央図書館整備計画を発表 新中央図書館構想の先行実施へ

10月21日、榎本頼兼市長は定例記者会見で、地下鉄東西線の二条駅から天神川までの西伸に伴い設置される天神川駅（仮称）周辺地区において、右京区の新たな拠点となる市街地再開発施設の整備計画を発表しました。

施設規模は、建築面積が7,000㎡、延べ面積が34,500㎡、地上5階（一部8階）地下一階建て。右京区総合庁舎、右京地域体育館、右京中央図書館（仮称）、一般分譲住宅等を配置します。

この施設の3階に誕生する右京中央図書館（仮称）は、施設の老朽化が進む右京図書館を『右京区基本計画』に沿って移転、整備。あわせて、新中央図書館構想のうち、早急な対応が求められるIT環境の整備と、京都の歴史・文化・芸術・産業などの専門的・学術的分野から市民の衣食住など身近なことまで、京都に関



天神川駅（仮称）市街地再開発施設の全景

するあらゆる資料・情報を幅広く、網羅的に収集し、データベース化した「京都大百科事典の図書館」機能を先行的に実施して、「京都」情報の発信拠点づくりを目指します。延べ面積は市立図書館として最大の3000㎡。公共交通機関はもとより、道路網においても重要な拠点となる再開発施設に立地することにより、右京区の方をはじめ、幅広い市民の利用が見込まれます。

平成17年度に着工して、平成19年度の地下鉄開通にあわせてオープン予定です。

ご意見・お問合せ＝中央図書館（TEL802-3133）

科学センターや学校歴史博物館などが無料に 「関西文化の日」

京都市では、11月1日（土）から3日（月・祝）までの3日間、京都市学校歴史博物館、京都市青少年科学センター、京都市美術館の3施設の入場料（美術館はコレクション展のみ、青少年科学センターは常設展のみ）を無料とし、市民や観光客の方々に本物の芸術や文化に触れていただくとともに、京都の文化を広くかつ強くアピールし集客を図る「関西文化の日」を実施します。

この「関西文化の日」事業は、関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会の主催により、関西一円において11月下旬にかけて実施されるものです。

1 京都市3施設での実施期間・開館時間

11月1日（土）～3日（月・祝）

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

2 内容

期間中、入場料を大人、子どもとも無料とします。

<11月の主なできごと>

- 1日 **テレビ放映、NHKスペシャル教育改革特集（午後9時～10時30分、NHK総合テレビ、京都市の先進的な教育改革に焦点をあて、京都市立小学校での取組や教育委員会での取組が紹介されます）**
- 4日 第55回京都市教育功労者表彰式典
- 6日 学校歴史博物館開館5周年記念特別展「こんなにある学校のたからもの」（学校歴史博物館、市立学校に伝わる名品を展示、～16.1.27）
- 8日 生涯学習推進月間制定記念対談「まちに学ぶ人に学ぶ」（午後2時30分～4時30分、みやこめっせ、生涯学習市民フォーラム会長：中坊公平氏と服飾評論家：市田ひろみ氏による対談、事前申込制）
- 15,16日 花背山の家10周年記念式典
- 18日 京都市教育実践功績表彰
- 29日 第6回京都市PTAフェスティバル（午前11時～午後3時、京都国際会館）

「わが子の父親」から「地域のおやじ」へ 京都「おやじの会」連絡会発足

全市から子育てに意欲がある「おやじ」が10月3日(とうさんの日)、京都市国際交流会館に集い、京都「おやじの会」連絡会の発足会が盛大に開催されました。

子育てが、ややもすると母親任せになりがちの中で父親の積極的な参加を促すため、昨年度から各小学校区(一部中学校)単位で「お父さんの子育てサークル」(おやじの会)の活動が始まりました。本年度は、その数が86校に拡大され、親子で活動する機会や父親同士が楽しく交流できる場づくりが進められています。このたび、連携を深める中で、さらに充実した活動を展開するためのネットワークづくりの一環として「おやじの会」の連絡会が創設されたものです。

「おやじの会」は、「地域の子どもは地域で育てる」土壌づくりを進めることも活動の目的にしています。「おやじの会」に集う父親たちが子どもに注ぐまなざしを「わが子」から「地域の子ども」へと広げ、多くの子どもた



ちに信頼され、時には、恐がられる、存在感のある地域の「おやじ」として持てるパワーを発揮していこうという熱い思いを「地域のおやじ宣言」として表明されました。

新会長に森田真利氏(山ノ内小 PTA)、副会長に國場淳氏(川岡小 PTA)、井上隆夫氏(鏡山小 PTA)が選出。顧問には、堀場厚氏(㈱堀場製作所取締役社長)、宮崎次郎氏(子ども未来研究室代表)、門川大作教育長が就任。また、京都「おやじの会」の応援のため駆けつけた榎本頼兼市長を名誉会長とすることが、満場一致で承認されました。

ご意見・お問合せ＝家庭地域教育支援課(222-3590)

京都の子どもたちを熱血指導 世界的指揮者 佐渡裕氏が京都に恩返し



熱血指導する佐渡さん

世界で活躍されている京都市出身の指揮者、佐渡裕さんが10月16日から21日まで、市立小中高等学校などで京都の子どもたちに音楽の楽しさを伝えました。

この企画は、佐渡さんから榎本頼兼市長のもとに「音楽の歓びを学んだ京都の地に恩返しをしたい」との親書が送られたことがきっかけで実現したものです。

初日の16日、新町小の公開授業には河合隼雄先生も参観。6年生約60人を前に、初めてフルートを触った思い出など、子ども時代のエピソードを交えながら熱っぽく指導。また、子どもたちに「京都は私の誇り。みなさんも何にでも挑戦し夢を叶えてください。」と呼びかけました。

佐渡さんは5つの小中学校や母校の市立音楽高校、市立芸大さらには5年間在籍された京都市少年合唱団なども指導され、感動的な場となりました。

ご意見・お問合せ＝企画課(222-3768)

なんば一わん

アラン・ケイプロジェクト(東アジア初)が一周年記念講演会を開催

10月5日、「アラン・ケイプロジェクト講演会」をば・る・るプラザ京都で開催しました。

講演会では、堀場雅夫氏(政府出資特別法人・京都ソフトアプリケーション社長)、アラン・ケイ博士の講演等に引き続き、このプロジェクトのスタッフとして御所南小学校、高倉小学校で「Squeak(スクィーク)」の指導を行っている京都大学大学院生の吉正健太郎氏から、この1年間の取組の経過や、子供たちが、自分が実現したいもの(目標)を試行錯誤を繰り返しながら達成していく様子などについての報告がありました。また門川大作教育長から、情報教育や学校評価システムなど市民ぐるみで取組む教育実践例の紹介もあり、会場からも多くの質問や感想が寄せられるなど熱気のある会となりました。

アラン・ケイプロジェクトでは、元龍池小学校に教室を開設し、今後一層充実した活動を展開します。

ご意見・お問合せ＝情報化推進総合センター(841-3505)

